

株式市場新聞

1 第323号

日経平均株価

2万6827円43銭

▲174円54銭(前日比)

TOPIX

1909.27

▲10.26(前日比)

www.marketpress.jp

2022
3/21
月曜日

発行元 株式会社 株式市場新聞社

〒530-0005

大阪市北区中之島4-2-28 甲南アセット中之島ビル

TEL 06-6105-1904



3月期権利配当取り

株価大幅調整で仕込みの好機

3月相場も4週目に突入し、3月期決算企業の権利配当取りを意識した動きになってくる。今年の場合ロシア軍によるウクライナ侵攻で地政学リスクが意識され大発会に2万9000円台を付けていた日経平均は3月に入って2万5000円割れとなる大幅な調整となった。実態以上に売り叩かれた銘柄が続出する現状は、中長期視野に立てば高配当や厚株主優待銘柄の仕込みの好機となる。株価水準と今後の業績動向を踏まえて注目銘柄をピックアップした。

中長期視野でも妙味

トップに位置する。例年なら

3月は権利付き最終日30日、3月29日、権利1日が権利確定日に落ちる。1日

権利配当落ち後はスライド調整になる懸念があるが、今年には既に大幅に株価が調整された銘柄も多く、中長期視野で権利配当取りの好機となる銘柄は多い。



権利付き最終日は29日

井(9308)や商船三井(9110)など直近人気化した海運が

円配当を維持、100株以上一律で商品1点を優待する「ふるさと優待」など、山形県の実績など内容が充実しており、3年以上保有で内容がアップする。1月18日に2612円を付けていた株は3月8日に2000円割れとなる1981円まで下落していることも妙味が高まる。小売りでは総合リースのハコフコ、コーポレーション、レイシオン(2674)は期末43円(前)は40円(前)の35円

日経平均日足チャート



期末一括配当。22年3月期は前期比50.8%増の12億円と大幅な増益予想で業績面から安心感がある。優待狙いなら3000円相当(3000株未満)の自社グループ商品を贈呈する日清食品ホールディングス(2897)や5000円相当の自社グループ商品を贈呈する伊藤ハム米久ホールディングス(2296)、なども妙味がある。



オハラは大幅反発

レンズ材好調で上方修正

期比10・1%増)へ、
営業利益で17億2
500万円から22
億円(同60・8%
増)へ上方修正した。

週明け
14日、
オハラ
(521
8)が大
幅反発。
22年1
0月期の
業績予想
について、
連結売上
高で24
0億円か
ら259
億円(前
期比19・2%増)へ、
営業利益で20億1

前週の動意銘柄

光事業でデジタルカ
メラ向け光学機器用
レンズ材の販売が堅
調に推移している。

レオン自材料費高で減額

レオン自動機(6
272)が続落。2
2年3月期の業績予
想のについて、連結
売上高で262億9
000万円から26
5億6000万円(前
期比19・2%増)へ、
営業利益で20億1

ヤマシ新製品好調で増額

ヤマシ(663
0)が急反発。22
年4月期の業績予想

石油・資源は先物下落

15日、INPEX
(1605)、富士石油
(5017)、WTI原
油価格連動型上場投
信(1671)など資
源開発、石油元売り、
原油連動ETFを含
め石油関連が総じて
安い。WTI原油先物
価格が終値で6・3
2ドル安の1バレル
103・01ドルに
下落、一時100ドル
を割り込んだことで

利益確定売りが優勢
となった。ロシアとウ
クライナの停戦交渉
への期待や新型コロナウイルス
への期待や新型コロナウイルス
ナ感染拡大による中
国経済停滞により需
給ひっ迫状態が緩和
されるとの思惑から
先物価格が低下。LM
E銅先物も1万ドル
を割るなど資源価格
も下落しており、住友
金属鉱山(5713)
やDOWホールデ

の修正を発表、連結
売上高で400億円
から410億円(前
期比11・9%増)へ
営業利益で64億円
から70億円(同1
4・5%増)へ上方
修正した。中期経営
計画に掲げた「売上
高500億円、営業
利益率20%」の達
成に向けたブランド
イング広告や新製品
開発等の諸施策が寄
与した。

インクス(5714)
も急落、大平洋金属
(5541)はストッ
プ安に売られた

MSOL76%営業増益

マネジメントソリ
ューションズ(703
3)がストップ高。2
2年10月期の第1
四半期決算は、連結営
業利益で前期比76・
2%増の1億890
0万円と大幅増益と
なった。DXなどの社
内変革のニーズは引
き続き旺盛で、プロジ

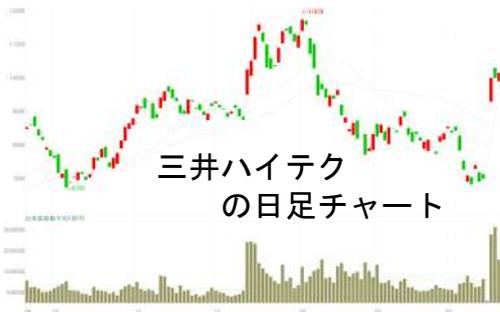
正直いいさんの株で大判小判

前週の東京市場は5週間ぶりに反発、
日経平均は5連騰、週間で1664円上
昇しています。原油価格高騰にブレーキ
がかかり、インフレ高進への過度の警戒
感が後退、FOMCで0・25%の利上
げが実施さ
たかたちに
動安も予想
堅く安寄り
り、売込ま
買われ、マ
伸していま
各指数は明
当面の底入れ感
ウクライナ情
が、極端な悪化
一本調子の上昇
けは戻り売りに
うですが、3月末権利取りの
買いが下値を支え底堅く推
移するでしょう。高配当
銘柄とリバウンド余地
の大きい新興グロース
株狙いです。 花咲翁



セレスポ大幅増額増配

エクトマネジメント
支援が伸びている
16日、セレスポ
(9625)がスト
ップ高。22年3月
期予想について、売
上高で230億円か
ら270億円(前期
比6・1倍)へ、営
業利益で22億円か
ら58億円(前期1
8億2900万円の
赤字)へ大幅増額、
期末一括配当を50
円から100円(前
期無配)へ引き上げ
た。国際スポーツ大
会や新型コロナウイルス
対応に関する業務の
実施などが寄与した。



三井ハイテク
の日足チャート

16日、三井ハイテク(6966)が連日でストップ高に買われた。22年1月期の連結決算は営業利益3.9倍で着地、23年1月期も20.4億円(前期比36.4%増)を見込むなど前期実績、今期見通しともにコンセンサスを上回ったことを引き続き好感、新中期計画で25年1月期に300億円を目標に掲げたこともポジティブなプライズになった。

三井ハイテク連続S高

コンセンサス上回る利益成長

EV化進行によるモーターコア事業の成長が加速する。

アスクル上振れ後退

アスクル(2678)が大幅下落。22年5月期第3四半期累計の連結決算は、営業利益は106億

3700万円(前年同期比3.4%増)と微増にとどまったことで通期の上振れ期待が後退した。第2四半期累計は13%増益だったが、直近3カ月の12.2月期は39億4100万円(同9.6%減)と減益で着地。開発体制強化へ45億円の追加投資を行うことからコスト負担も警戒された。

三井松島は上振れ増配

へ引き上げた。石炭価格の上昇や電子部品分野における堅調な業績が利益を押し

17日、三井松島ホールディングス(1518)が大幅伸。22年3月期の業績予想について、連結営業利益で70億円から82億円(前期比4.2倍)へ上方修正、期末一括配当を60円から80円(前期50円)

川崎近海は株式交換

上げた。

川崎近海汽船(9179)がストップ高。川崎汽船(9107)が株式交換により完全子会社とすると発表したことを受け、交換比率に基づく理論価格にサヤ寄せした。同社株式1株に対して川崎汽船株式0.58を割り当て交付、川崎汽船の16日終値8860円を基準にすると、5139円が理論価格になる。同社株は上場廃止になる予定。

4月30日(土)第7回 株式セミナー in大阪

ロシアとウクライナ戦争で株式市場はどうなる？

主催：株式市場新聞 時間：14時～16時 受付・開場13時 参加料：無料 マスク着用必須！

申込はTEL06-6105-1904またはinfo@marketpress.jp まで

225先物に振り回されない株式投資のテクニック
これから上昇する特選銘柄5銘柄を教えます!!

数々の株式コンテストで優勝した岡山憲史さんが登壇

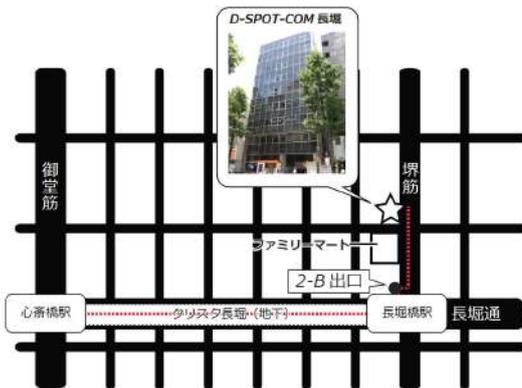


岡山憲史氏(株式会社マーケットバンク代表)1999年2月日本初の資産運用コンテスト「第一回S1グランプリ」約1万人の参加者の中から優勝のほか、多くのコンテストで優勝。1カ月間の3銘柄合計パフォーマンス155%と断トツ。週刊現代や週刊ポスト、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く執筆活動を行い、個人投資家に投資情報サービスを提供。

会場：D-SPOT-COM長堀セミナールーム

大阪市中央区南船場2丁目3-6第一住建長堀橋駅前ビル1階
【TEL】06-6105-1904

堺筋線・長堀鶴見緑地線長堀橋駅 2-B出口 徒歩1分
御堂筋線心斎橋駅 クリスタ長堀経由 徒歩5分



*セミナー参加者に大変便利なポケットサイズの2022年版最新カレント経済ノート「主要経済指標」定価1,000円を参加者全員に差し上げます。

沖縄最大の物流施設

大和ハウス工業

「DPL沖縄豊見城」14日に竣工



大和ハウス工業(1925)が沖縄県豊見城市で開発している2棟で構成する沖縄県最大の物流施設のうち北側の施設「DPL沖縄豊見城」が14日に竣工した。南側の「DPL沖縄豊見城II」は9月に竣工の予定。

沖縄県東アジアの中心に位置、那覇空港は国内だけでなくアジア主要都市との国際貨物ハブとして重要な役割を担っており、

施設は那覇空港から約5km、浦添ふ頭から11kmと空運・海運を利用した国際物流拠点として機能。延床面積は北側、南側合わせて沖縄コンベンションセンター約6個分に当たる約12万2000㎡にのぼる。貸床面積7000㎡から入居可能で、最大17社のテナントに対応でき、すでに3社の入居が決定。

幅広い業種・業態に対応するマルチテナント型物流施設で、DPL沖縄豊見城II内は冷凍・冷蔵・常温(15〜20度)・常温の4温度帯に対応。また、最大100名受け入れができる保育施設を設け、ワーク・ライフ・バランスを支援する。

企業レター

ソフトバンクGが続騰

アリババADR3割超の大幅高

17日、ソフトバンク(9月9日)が米国の市場が騰。アリババADRは3割超の大幅高となり、投資期待が大きい。中国国務院金融安定発展委員会が開催した会議で、劉

副首相が市場に配慮した政策を打ち出し、米国の中国株について米中の監督当局が具体的な協力計画を策定しており、アリババ株の先行き懸念後退した。

公開価格10円上回る

守谷輸送機の初値(226)が東証2部へ新規上場、公開価格810円を10円上回る820円で初値をつけた。荷物用エレベーターなどの製造、据付工事、販売、

保守・修理を行う。週末18日、プロレドS安で最安値

ド・パートナーズ(7034)がストップ安で上場来安値更新。2年10月期第1四半期の連結決算は、売上高7億5200万円(前年同期比14.8%減)、営業利益3000万円(同85.8%減)と2ケタ減収で利益が大幅に減少、通期は利益計画はき非開示で、売上高を40億円から32億4000万円(前期比11.2%減)へ一転減収に下方修正した。

底打ちシグナル点灯

先週の東京株式市場は5週ぶりに反発しました。FOMCを通過して相場があく抜けした形です。

S&P500とナスダックは週足で陽線包み足の底入れシグナルが点灯。東証でもマザーズ指数が陽線包み足となり、日足で25日線を回復してきました。

これら3指数はダブルボトムも形成していますので底打ちしたものとします。

日経平均は5連騰で約1500円上昇しましたので、今週は目先の過熱感を冷ます押しが入るのではないかと見ていますが、3月期末前の配当権利取りの動きも出てくるでしょうから押しは浅いのではないかと考えます。

ウクライナ情勢の落としどころはまだ見えませんが、相場は既に底打ちして先に進みだしました。押し目買いで報われる環境ということです。

日々勇太郎



レノバ洋上風力早期導入

レノバ(9519)が急伸。閣議後会見で萩生田光一経産相が洋上風力発電事業者の公募について「早期導入という観点を重視するかたちで見直す」と発言したことが買い手掛かり。ウクライナ情勢などから再生可能エネ導入加速が急務で、現在公募中の秋田県八峰町・能代市沖も締め切りを

Ubicommホルディングス(3937)が3日続伸

上限7万株(発行株の0.59%)の自社株買いを発表、期末一括配当を9円(前期7円)とした。

前週の動意銘柄

世界水準超え目指す

立花エレテック本社で説明会

3D積層造形革新へ日本AM協会発足

AM(Additive Manufacturing=積層造形・3Dプリンティング)普及促進を目指して2014年2月に近畿経済産業局が設立した「3Dものづくり普及促進会」を発展的に解消し、一般社団法人日本AM協会を新たに設立。立花エレテック(8159)本社(大阪市西区)で日本AM協会会長永安悟氏と経済産業省近畿経済産業局 黒木敬良氏による設立説明会が開催された。

グローバルの先端的なものづくり分野においては、3D積層造形技術の飛躍的な革新に伴い「3D積層造形による量産化」が急速に進んでおり、GEが金属3Dプリンタにより製造したジェットエンジンLEAPの燃料ノズルが米国連邦航空宇宙局の認証を取得している。一方、国内で3Dプリンタの用途は試作品の作成など

に限定されており、今回の日本AM協会設立で、世界から遅れていると言われる日本のAMを世界水準に引き上げることを目指している。

今回設立する日本AM協会はデザイン設計から材料(材質や形状)、3D積層造形装置、後加工(サポート除去、熱処理、切削加工)、規格品質保証までAM活用に必要な技術に関係する様々な企業が正会員・賛助会員として参加、AMプロセス全体をサポートできる国内唯一の団体となる。製造プロセスの超高度化・超効率化を推進するAMはDXのキーテクノロジーと位置付けられているだけに、日本AM協会が機能することにより、日本のAMを世界水準以上に普及させる方針だ。



永安悟 日本AM協会会長



黒木敬良 経済産業省近畿経済産業局

GREEN 未来を企画するクラウドファンディング
MURAMO 株式会社市場新聞

プロスポーツ選手も認めた!

EyeTrainer II





敬腕先物ディーラー

ハチロクの裏話

ハチロクのプロフィール
証券アナリストから証券会社の

法人部長を経て、225先物オプションディーラーに転身。アナリスト時代に培ったテクニカルやファンダメンタルズなどの分析力を駆使、リーマンショックなどの暴落時も乗り越えて西日本における225先物オプションディーラーとしてはトップクラスの運用実績を誇る。



アメリカ合衆国議会議事堂

NYダウの日足チャート



の下限(2万7464円処)、この水準は75日の移動平均線(2万7494円処)も位置するため、売りが出やすい水準である。その上は雲の上限(2万7716円処)があげられよう。一方、

今週立ち合いは4日間であるが、先物主導でボラティリティの高い展開は続く。今週のレンジは2万6500円から2万7500円を想定する。(ハチロク)

先週の日経平均は前週末比約1665円高と5週ぶりの週足陽線となった。ウクライナ情勢で停戦協議が進展する可能性が高くなつたことや、16日の米FOMCが事前のマーケットの予想通りの結果だったため、市場の過度の不安心理が後退した。また、

懸念されていたロシア債のデフォルト懸念も利払いが履行されたことで一旦はプラスに働いたようだ。侵攻前の2月10日の戻り高値(2万7880円70銭)から3月9日の安値(2万4681円74銭)まで1カ月で約3198円下落したが、この2週間で下げ幅の三分の二以上の約2146円を戻した形となった。前週末まで海外勢が大幅に現物株を

売り越していたが、先週は一気に買戻しが入った形である。チャート上では25日移動平均線(2万6282円処)を上回って更に16日に付けた窓を埋めて(2万6824円94銭)きたので、更なる上昇が期待できる形となってきた。直近の4日間は4本連続陽線、しかも、ザラ場高値と安値が連日で前日の価格を上回る「赤三兵」となり強い相場を示唆している。テクニカル的にもRSIは53%と中立圏で上値余地はあると思われる。更に需給的にも3月期末の権利取りの買いも期待できよう。日経225で配当分は約230円程度だが、その再配分は約1兆円あると見られており先取りも期待できよう。上値メドは一目均衡表の雲

の下限(2万7464円処)、この水準は75日の移動平均線(2万7494円処)も位置するため、売りが出やすい水準である。その上は雲の上限(2万7716円処)があげられよう。一方、

情報戦で先手、先手打つ米国、さらなる上昇を期待

下値は節目の2万6500円、25日移動平均線(2万6282円処)や16日に付けた窓埋め(2万5824円94銭)があげられよう。ウクライナ問題に対し米国はロシアや中国よりも情報を先手先手で発信し、操作し上手に抑え込んでいる感はある。「世界の警察健在」つてとこである。一旦は過度の警戒感が後退し株価は上昇しているが、世界的なインフレ懸念は継続しており、戻り一巡後は再び調整局面になると思われる。

CME日経平均先物日足チャート



CME日経平均先物は19日に2万7000円を回復した!



修正はできない。売名行為で過激なツイートする方もいるかも知れないが、節度ある利用をお願いしたい。

タンを押したら瞬時にツイートで拡散され、あとで間違っていたら修正はできない。売名行為で過激なツイートする方もいるかも知れないが、節度ある利用をお願いしたい。

ことに疑問を感じる。その昔、佐藤栄作首相が「テレビカメラはどこかね」と言って、カメラの前だけしか語らなつたことは有名な話。新聞記者相手に語ると文字になつたときに意図しない内容になるから、直接国民に語るほうが良いと考えたのだから、直接国民

星野三太郎の株街往来

～激化するSNSでの舌戦～

ロシア軍によるウクライナ侵攻が始まる辺りから、評論家やタレントなどによるツイッターでの舌戦が激化している。ツイッターなどSNSを情報発信に上手く利用していたのは米国のトランプ前大統領。NYダウが暴落している最中に金融緩和や政策についてツイートすると瞬時に反転に転じたことは何度かあった。ただ、文字



New product

AVナビ2022年モデル

大画面8V型モデルをラインアップ



MDV-S809F

ケンウッド(6632)はケンウッドブランドとしてAVナビゲーションシステム「TYPE S」シリーズの2022年モデルを3月下旬から発売する。

今回発売するのは、“彩速ナビ”「MDV-S809F(8V型フローティングモデル)」「MDV-S809L(8V型インダッシュモデル)」「MDV-S709W(7V型200mmワイドモデル)」「MDV-S709(7V型)」の計4モデル。今回、新たに2DINサイズに取り付け可能な大画面8V型フローティングモデルをラインアップ。小型車やコンパクトカーユーザーに最適なサイズとして提案している。

完全新規タイトルを発売

「エグゾプライマル」2023年から



エグゾプライマル

カプコン(9697)はマルチプラットフォーム向けに、完全新規タイトル「エグゾプライマル」を2023年に発売する。

「エグゾプライマル」は、オンライン専用のチーム対戦型マッシュヴァアクション。プレイヤーは、突如出現する恐竜の群れに街や人々が襲撃される事象「恐竜災害」に立ち向かう「エグゾファイター」として、各々の役割に特化した最新鋭パワードスーツ「エグゾスーツ」を身にまとい、仲間と協力して恐竜と戦う。メインモードの「ディノサバイバル」は、5人のプレイヤーが1つのチームを組み、大量の恐竜が迫り来る状況の中でミッション達成の速さを競い合う5vs5の「対戦型PvE(プレイヤー対環境)」となっている。完全新規IPとして鋭意開発を進めている。

記者の視点 相場見通し

脱コロナ、経済正常化へ

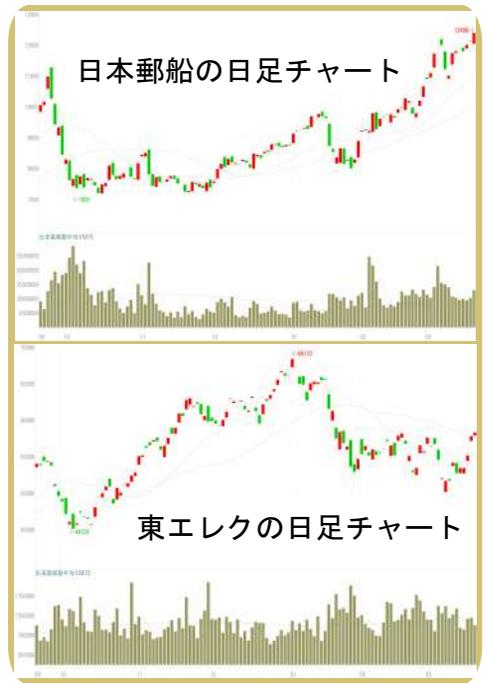
権利付最終へ高配当物色継続

ルまで急落したことや、利上げを発表したFOMCが通過したこと、アク抜け感の台頭、ロシアとウクライナの停戦交渉への期待からニューヨーク市場が大きく戻ったことが支援した。国内では3連休前であることから2万7000円を目前にして上値が重くなることは仕方がない。ウクライナ情勢は刻々と変化すること

3月第3週の株式市場は、日経平均で先週の終値2万5162円78銭に対し、円超高と大きく戻して引けた。一時は1300・5ドルの高値を付けたWTI原油先物が15日に93・53ドル



このことから、FOMCの利上げ発表は市場を大きく押し上げた。ウクライナ情勢は刻々と変化すること



当面のスケジュール

- ・18日 米2月中古住宅販売件数(23:00)
- ・21日 18 都道府県に適用している「まん延防止等重点措置」解除期限
- ・23日 米20年国債入札
- ・24日 1月17・18日開催の日銀金融政策決定会合議事要旨
EU首脳会議(～25日)
米10-12月期経常収支(21:30)
- ・25日 2月企業向けサービス価格指数(8:50)
独3月Ifo景況感指数(18:00)

16日、宮城県と福島県で震度6強の強い地震があった。幸い3・11のような大きな津波はなく、福島原発にも大きなトラブルはなかったが、状況が気になるのでニュースを見ていると「FRBは記録的なインフレを抑制するため0・25%の利上げを決めた」との速報が入った。直後に堅調に推移していたダウが急落、一時下げに転じたが、パウエル議長が金融引き締めに耐えうる好調な経済状況を強調したことで再び上げに転じ大幅高で引けている。市場との対話が上手いということなのだろうか。

編集後記

【ご注意】株式市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測的的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被られたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。